

令和7年度 第2回 稲沢市男女共同参画審議会 会議録

【日 時】 令和8年3月25日 水曜日 午後1時55分から午後3時20分

【場 所】 稲沢市役所 東庁舎2階 第11会議室

稲沢市男女共同参画審議会委員

【出席者】 田 中 明 子 名古屋文理大学 教授  
五十嵐 紗 織 愛知文教女子短期大学 講師  
戸 崎 伸 治 一宮公共職業安定所 所長  
佐久間 春 生 稲沢市ボランティア・市民活動連絡会 会長  
犬 飼 祐 香 愛知男女共同参画人材育成セミナー 修了生  
仙 石 早 苗 愛知男女共同参画人材育成セミナー 修了生  
【欠席者】 近 藤 高 弘 稲沢市立大里東中学校 教頭  
後 藤 恵 美 稲沢商工会議所女性会 顧問

【稲沢市】 服 部 美 樹 市民福祉部長  
中 村 昇 孝 地域協働課長  
中 野 稔 地域協働課主幹  
水 谷 隆 道 地域協働課主任

【会議概要】

1 あいさつ

[市民福祉部長あいさつ]

[田中会長あいさつ]

2 議題

(1) いなざわ男女共同参画プランⅣについて

事務局から資料により、国や県の動向、市計画策定の流れ等を説明。

(主な質疑・意見)

[会 長]

資料1-1中、国計画の説明部分で「男性を含めたすべての人」という表現があるが、少し表記に違和感を覚えるがいかがか。

[事務局]

国計画の文言に同様の表現があったため、そのように記載した。市計画策定においては、可能な限り、市計画を読み違和感を覚えるかたが少なくなるようにしたい。

[委 員]

計画を策定して市民に周知、啓発していくことが重要である。現行プランもまったくと言っていいほど市民は知らないのではないか。策定する内容だけでなく、せつかく策

定した計画が「絵に描いた餅」とならないよう、策定した後のことも課題なのではないか。

[会 長]

そのとおりだと思う。事務局からはなにかあるか。

[事務局]

事務局としても、同じ思いである。今いただいた御意見は、策定作業の中でも心がけていきたい。

[副会長]

現行プランの結果や反省といった内容も次期プラン策定にあたって反映させていくことかと思われるが、審議会や庁内でのそうした部分の運用は現時点どのようなイメージを持っているか。

[事務局]

現状、具体的なイメージができていないわけではないが、来年度、再来年度は例年より早いタイミングで前年度の状況調査をしたいと考えており、可能な限り早く市役所内での取組みを審議会に報告したい。また、審議会以外に関係課を集めた庁内横断会議を開催する。庁内横断会議から審議会への意見、審議会から庁内横断会議への意見がうまく行き来できるよう事務局として努めたい。

[委 員]

計画期間に関して、「中長期的な視点」ということだったが、今般のイランの情勢等を見ていても、明日、何が起きて世界がどう変化するかも見通せない状況であり、果たして中長期的な視点を持つことが可能なのだろうか。そうした中で、策定スケジュールに関して、令和8年度は9月に開催した後、開催なしとのことで、少し間が空くため、不安が残る。

[事務局]

実際に現行プランは計画期間を7年間としているが、毎年の進捗状況の確認以外は特段、途中での見直し等はできていない。次期プランは中間改訂を前提として進めていくため現行プランから比較すると早いタイミングで見直すことが可能となる。

本日お示ししている策定スケジュールはあくまで概案であるため、来年度の審議の中で、例えば3月に会議が必要なのではないか、ということであれば予算の範囲内で変更することは可能である。

[会 長]

会議の開催時期については、必要があれば来年度に協議したい。

[事務局]

男女共同参画に関しては市長も思いがあり、議会等で関係する事柄について答弁しているとともに、地域協働課として地区の役員の女性の割合について指示を受けている。

地域協働課としても前向きに男女共同参画に取り組んでいきたいと考えている。

## (2) 委員の公募について

事務局から資料により、委員の公募について説明。

(主な質疑・意見)

[会 長]

応募資格について、市内在住イコール住民票がある、という理解で良いか。また、いつ時点で市内在住である必要があるのか。

[事務局]

お見込みのとおり。また、市内在住は応募資格であるため、応募時点には市内在住である必要がある。

(3) 市議との懇談会（審議会を兼ねる）について

事務局から資料により、企画（案）について説明。

[委 員]

懇談会の進行はどのような形式か。

[事務局]

あくまで審議会内で懇談会を実施するという形式であるため、進行は会長にお願いさせていただきたい。

[委 員]

懇談内容としては、地域の各種団体における役員に女性が少ないため、クォータ制度のような仕組みについて、市議がどう考えているかききたい。

[副会長]

懇談時間も限られているため、クォータ制度全般についての意見をお聞きするのではなく、地域の各種活動におけるクォータ制度の導入というように範囲を絞ってはどうか。

[委 員]

地域のまちづくり活動に関わっているが、地元以外の市議と関わったことがなく、他地区選出の市議とも交流したいと思う時がある。そうした場合にはどうしたらよいか聞いてみたい。

[委 員]

今回の懇談会に出席していただけるのは女性市議が中心か。

[事務局]

資料にあるとおり、現時点では、市民福祉部を所管する文教厚生委員会の正副委員長と女性市議7名を想定している。なお、正副委員長は男性である。

[委 員]

それならば、女性議員として、男性議員との壁を感じたことがあるか、実際に市議として活動するなかで、理想と現実のギャップがあったかという2点を聞きたい。

[会 長]

進行方法について、1点提案だが、懇談会の最後にフリータイムのような形式で、例えば3対3程度のグループワークはできないか。全体でお話するより、その方が懇談しやすいのではないか。

[副会長]

会長の御意見のとおり、少人数の方が話しやすいと思う。市議のお話をお聞きするだけになってしまっただけは、市議側、審議会側の両者にとって損であるため、しっかり両者

が懇談できるようにしたい。

なお、内容としては、全体を通して男女共同参画の観点で稲沢市をどうしていきたいか、というテーマがあると良いのでは。

[事務局]

フリータイム形式については検討させていただく。

[会 長]

懇談内容をまとめると、①地域におけるクォータ制について、②地元の市議以外の市議との交流手段について、③女性市議の課題、という3点を審議会として希望するということではよいか。(異議なし)

それでは、この懇談内容で、事務局において議会側と調整をお願いしたい。

[事務局]

1点お知らせさせていただく。今年度の審議会からの意見を受け、市HP上に男女共同参画に関する用語解説のページを新しく作成した。このページは作って終わり、ということではなく、例えば、こうした単語はどうかといった御意見があれば、その都度ブラッシュアップしていきたいと考えているため、ぜひ、一度は御確認いただきたい。

### 3 その他

- ・人事異動等による委員の変更について

[事務局]

人事異動等により、委員の変更がある場合は手続きが必要であるため、事務局へ連絡してほしい旨、伝達。

(午後3時20分散会)